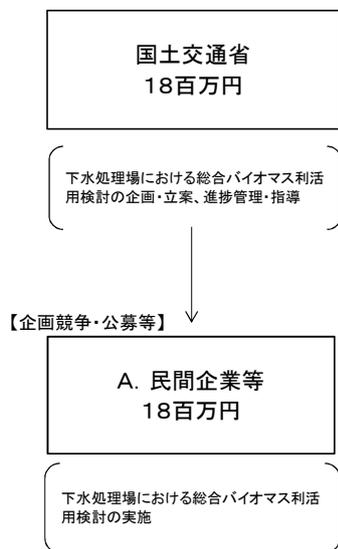


平成27年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )										
事業名	下水処理場における総合バイオマス活用検討経費			担当部局庁	水管理・国土保全局下水道部			作成責任者		
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	下水道企画課		課長 井上 誠			
会計区分	一般会計			政策・施策名	3 地球環境の保全 9 地球温暖化防止等の環境の保全を行う					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	エネルギー基本計画					
主要政策・施策	地球温暖化対策			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	下水処理場における総合的なバイオマス活用について、モデル地域での事業化検討を行い、手順等をマニュアルとしてとりまとめ、既存ストックを活用した再生可能エネルギーの導入加速化を図る。									
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	地域に存在する生ごみ等のバイオマス、既存の下水処理場を活用して効率的に集約・利活用し、また電力改革による分散型エネルギーインフラプロジェクトや地域資源である下水汚泥由来の肥料等を活用した農業の振興等、“特色ある地域資源を活用した地域活性化”に資する新たな成長分野へ貢献するため、下水処理場における総合的なバイオマス活用事業を全国に展開する。									
実施方法	委託・請負									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求			
		補正予算	-	-	-	18	25			
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-					
		予備費等	-	-	-					
		計	0	0	0	18	25			
	執行額	-	-	-						
	執行率 (%)	-	-	-						
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度			
	下水道に係る温室効果ガス 排出削減(省エネ・創エネ 対策及び下水汚泥焼却の 高度化による温室効果ガス 排出削減目標量)	温室効果ガス排出削減量	成果実績	万t-CO2	168	-	-			
			目標値	万t-CO2	-	-	-	246		
			達成度	%	68%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック			
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込				
	総合バイオマス利活用に関する技術資料の作成	活動実績	件	-	-	-				
		当初見込み	件	-	-	-	2			
単位当たり コスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込				
	実績額/報告書数	単位当たり コスト	百万円	-	-	-	9			
		計算式	百万円/件	-	-	-	18/2			
平成 27・ 28 年度 予算 内訳 (単 位: 百万 円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	地球温暖化防止等対策調 査費	18	25	新しい日本のための優先課題推進枠J15						
	計	18	25							

事業所管部局による点検・改善					
項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	再生可能エネルギーの導入を加速することは、我が国全体のエネルギー安定供給に資するものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	下水処理場において総合的なバイオマス活用を行っている先行事例は、国においてマニュアル化する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	再生可能エネルギーの導入を加速することは、我が国全体のエネルギー安定供給に資するものである。また、下水処理場において総合的なバイオマス活用を行っている先行事例は、国においてマニュアル化する必要がある。優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不利用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	下水処理場における総合的なバイオマス活用について、モデル地域での事業化検討を行い、手順等をマニュアルとしてとりまとめることは、国として実施する必要がある。			
	改善の方向性				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業成果がモデル地域以外の地域における具体的な案件形成につながるよう、地方公共団体の規模等に応じた適切なモデル地域の設定や事業成果の普及・活用方策の検討を行う。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
事業成果がモデル地域以外の地域における具体的な案件形成につながるよう、地方公共団体の規模等に応じた適切なモデル地域の設定や事業成果の普及・活用方策の検討を行っていく。					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新27-012		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
(単位：百万円)